

『生きがい通信』では、兵庫県生きがい創造協会本部の事業や高齢者大学等の諸事業をお知らせしています。

トピックス

阪神シニアカレッジにおいて

新たに「文学・歴史講座」が4月にスタートします！

阪神シニアカレッジでは、令和8年4月から日本史と日本文学の多彩な講座をお届けする『文学・歴史講座』を新たに開講します。詳しい内容などは、阪神シニアカレッジのホームページをご覧ください。

募集時期 令和8年1月5日（月）～1月14日（水）

募集定員 45名 ※応募者多数の場合は抽選

応募資格 神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町に在住で
令和8年4月1日現在56歳以上の方

受講期間 2年間で60講座（日本史/45講座・日本文学/15講座）

講義日 主に水曜日（一部の講義は月曜日、金曜日に実施）

受講料 30,000円（年間）*他に傷害保険料(1,150円・年間)

《お問い合わせ》 阪神シニアカレッジ ☎0797-26-8001

「新年のごあいさつ」

公益財団法人 兵庫県生きがい創造協会

理事長 橋本正人



新年あけましておめでとうございます。

昨年は、阪神淡路大震災から30年の節目を迎え、これまで以上に震災の経験と教訓を次の世代につなぐ取り組みが進められました。

また「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに「大阪・関西万博（万国博覧会）」が開催され、日本、世界の大きな課題である少子高齢化やエネルギー問題等について最先端技術や英知を集めて解決していくことを考えるイベントが、数多く開催されました。

国内では、我が国初の女性総理大臣も誕生しましたし、世界に目を向けると、トランプ政権のアメリカ・ファーストによる国際貿易摩擦や、温暖化による世界規模での気候変動が一層深刻化しました。

さて、今年、2026年（令和8年）は、どんな年になるのでしょうか。

人口減少、少子高齢化、食糧問題、物価高、経済構造の変化、地球温暖化、不安定な世界情勢など、先行きへの不透明感がある中、私たちが、生きがいを感じ豊かな日々を送るためには、今を知り、新しい時代を様々な視点で学ぶ必要があります。

兵庫県生きがい創造協会は、皆さんの「学び」を応援します。今年も多彩なテーマの講座等をお届けします。

学びとともに充実した1年になることをお祈りします。

特集

令和8年度「生涯学習講座」受講生募集

兵庫県生きがい創造協会は、皆様の生涯にわたる学びを応援しています。

いなみ野学園（加古川市）

募集講座

① 大学講座（4年制）

園芸学科、健康づくり学科、文化学科、陶芸学科 募集定員計340名

陶芸学科専修コース 若干名

② 大学院講座（2年制） 50名

対象

① 概ね56歳以上の県内在住者、

② 県内在住者（要件あり）

受講料

年間50,000円（他に入学金、実習費等）

募集受付期間

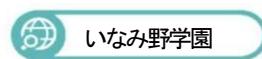
令和7年12月8日（月）～令和8年3月19日（木）

※応募者多数の場合は抽選

お問い合わせ

いなみ野学園 ☎079-424-3342

〒675-0188 加古川市平岡町新在家902-3



阪神シニアカレッジ（宝塚市）

募集講座

① 4年制学科

園芸、健康、国際理解学科 募集定員各50名

② 阪神ひと・まち創造講座（2年制） 募集定員30名

③ 文学・歴史講座（2年制） 募集定員45名

対象

56歳以上の神戸、阪神地域在住者

受講料

① 年間60,000円（他に実習費（園芸学科）、傷害保険料）

② 年間30,000円（他に傷害保険料）

③ 年間30,000円（他に傷害保険料）

募集受付期間

令和8年1月5日（月）～1月14日（水）

※応募者多数の場合は抽選

お問い合わせ

阪神シニアカレッジ ☎0797-26-8001

〒665-0032 宝塚市東洋町2-5



ひょうごラジオカレッジ（ラジオ放送による通信講座）

学習方法

- ・毎週土曜日午前7:00～7:30にラジオ関西で放送する講義を聴いて、はがきやメールなどで感想文を提出します。
- ・テキストは毎月郵送されます。
- ・放送はパソコン、スマートフォンでもお聴きいただけます。



対象

ラジオ講座による学習に意欲のある方。年齢・住所は問いません。

受講料

年間7,000円（テキスト代・スクーリング参加費を含む）

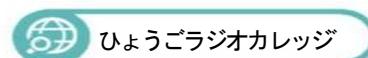
募集受付期間

令和8年2月2日（月）～5月8日（金）

お問い合わせ

ひょうごラジオカレッジ ☎079-424-3343

〒675-0188 加古川市平岡町新在家902-3



各施設だより

いなみ野学園だより

第52回「いなみ野祭」を盛大に開催しました！

11月15日(土)・16日(日)の2日間、「学びの輪 地域の和 みんなでつくる笑顔のひととき」をテーマに、いなみ野学園最大のイベント『いなみ野祭』が盛大に開催されました。

初日は、開会に先立ち、長年のボランティア活動等の功績により「益踊り愛好会」に対して『兵庫県くすのき賞』が授与されました。その後、主催者挨拶に引き続き、大講堂での「演芸大会」をはじめ、芝生広場等での「アトラクション」や各教室でのクラブ活動の「作品展示」、園内各所での「即売・物販販売」など多彩な催しが繰り広げられました。両日ともに好天にも恵まれ、数多くの来場者にお越しいただきました。



「いなみ野学園スポーツ大会」を開催しました

いなみ野学園の秋の恒例行事として、9月後半に大学院と・大学でそれぞれスポーツ大会が開催されました。大学院は囲碁ボールとソフトダーツの2種目の班対抗戦で、大学はこれらにグラウンドゴルフ、ツウゲットボール、ペタンク、クロリティを加えた6種目のクラス対抗戦で白熱した戦いが繰り広げられました。

天候に恵まれなかった学年や、熱中症警戒アラートで充分な練習が出来なかった屋外種目もありましたが、終日、大きな歓声の中で健康の維持と親睦を図ることができました。



「写真展」「絵手紙展」が開催されました

いなみ野学園では、様々なクラブ活動・サークル活動が行われていますが、11月下旬から12月初旬にかけ「写真展」と「絵手紙展」が開催されましたので、その様子を紹介します。

『第19回 写真展』

11月23日（日）から30日（日）にかけ、加古川総合文化センターにおいて写真部と写真サークルの共催により「写真展」が行われ、講師2名の4作品に加え、合わせて55名103作品が出展されました。

風景写真や様々な動植物、スポーツを含む人物写真など多くの力作が展示されていました。



『第7回 絵手紙展』

12月1日（月）から3日間、東播磨生活創造センター「かこむ」1階展示ギャラリーにおいて絵手紙くらぶの主催による「絵手紙展」が開催されました。

現クラブ員11名とOB会員17名に講師1名の計29名が出展。ハガキだけでなく、色紙や掛け軸、ウチワに紙皿、空き箱などに創意工夫を凝らした数多くの力作が所狭しと展示されていました。



「東加古川軒先市場」にいなみ野学園生らが出演しました

営業終了したコープ東加古川店前に、誰もが気軽に立ち寄れる「つどい場『虹』」がオープン。この場所を活用し9月28日（日）に第1回「東加古川軒先市場」が開催され、いなみ野学園から太極拳サークル、盆踊り愛好会、南京たますだれサークルが出演しました。

また、12月6日（土）の第2回には、銭太鼓クラブと南京たますだれサークルが出演し、いずれ多くの観客から好評を博しました。

令和8年2月22日（日）の第3回にも、謡曲部、傘踊りサークル、マジックサークルてっぺんなどが出演予定です。是非、ご来場ください。



いなみ野学園 陶芸学科第54期(笑陶会)『卒業記念作陶展』

陶芸学科第54期(笑陶会)による「卒業記念作陶展」を開催しますので、是非ご来場ください。

日 時: 令和8年1月31日(土)~2月4日(水)

10:00~17:00

(初日11:00より 最終日15:00まで)

場 所: 加古川総合文化センター

(加古川市平岡町新在家 1224-7)

入場料: 無料

問合せ先: いなみ野学園 電話079-424-3342



いなみ野学園「わくわく講座」参加者を募集中!



日 時: 令和8年2月11日(水・祝)

14:00~15:30

場 所: いなみ野学園大講堂

定 員: 50名(先着順)

受講料: 1,500円 小学生以下500円(小学生以下は保護者同伴)

申込・問合せ先: いなみ野学園 電話079-424-3342

ソプラノ歌手

奥田 愛

ピアノ

佐藤 亜衣

生きがい創造協会「寄付金」のお願い

生きがい創造協会は、県民の皆様の生涯にわたる学びを応援する先導拠点として、高齢者大学講座「いなみ野学園」「阪神シニアカレッジ」「ひょうごラジオカレッジ」を運営するなど、各種の生涯学習事業に取り組んでいます。これらの活動をより充実させていくために、皆様のご寄付をお願いいたします。

問合せ先: 総務部

電話079-424-3380

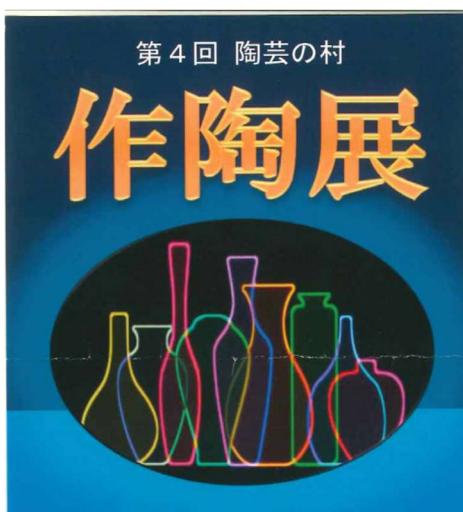
詳しくは協会HPをご覧ください。 <https://www.hyogo-ikigai.or.jp/ikigai/contribution.html>



陶芸の村「作陶展」を開催しました

陶芸の村は、生きがい創造協が運営する会員制の作陶施設で、約120名の会員が陶芸の村で制作した作品を兵庫工芸展や各市町の美術展などに出品し多くの入賞・入選を果たしています。

このたび、独自の展示会として10月9日（木）から13日（月）にかけ、加古川総合文化センターにおいて陶芸の村「作陶展」を開催しました。指導員3名の7作品に加え、会員43名の素晴らしい71点が展示されていました。



短期集中講座「生成AI活用講座」を開催

生涯学習部では、短期間の学習講座の開設に対するニーズに対応するため、平日の午後やいなみ野学園の休園日などの学舎を活用し、くらしに役立つ趣味・知識等の分野の講座や生活支援分野において活躍するため、広く県民を対象とした「短期集中講座」を実施しています。

9月から10月にかけ4回講座として『スマホで使える！生成AI活用講座』を開催しました。講義では、生成AIをスマホで気軽に体験しながら、ニュースの理解や画像作成、日常生活への活用法など、AI初心者でも楽しく学ぶことができました。



「剪定講習会」「ハウスクリーニング講習会」を開催しました

生涯学習部では、今年度も（公社）兵庫県シルバー人材センター協会との共催で「剪定講習会」と「ハウスクリーニング講習会」の2講座を開催しました。いずれも無料の講習会で、受講後の活動の場につながる実践的な講座になりました。

『剪定講習会』

11月17日・18日の2日間にわたり開催した『剪定講習会』には11名が参加。

プロの講師から安全に剪定を行うための心構えを始め安全に作業するための道具等の使い方、樹木の剪定方法等を、講義と実技指導を交えながら学びました。



『ハウスクリーニング講習会』

同月20日・21日には「清掃マイスター2級」の資格が取得できる『ハウスクリーニング講習会』を開催しました。

8名が（一社）日本清掃収納協会の講師から、依頼主の様々なニーズに合わせた様々な掃除のテクニックを学びました。



「ねんりんピック岐阜2025」兵庫県選手団が大活躍しました！

高齢者のスポーツと文化の祭典である「ねんりんピック岐阜2025」が、10月18日(土)～21日(火)の4日間にわたり、岐阜県内各地で「清流に 輝け ひろがれ 長寿の輪」をテーマに開催されました。

兵庫県からはスポーツ18種目、文化3種目の計21種目に141名の選手・監督が参加。成績は、オリエンテーリングで団体優勝、水泳（50m背泳ぎ 85～89歳女子、50mバタフライ 75～79歳女子）で優勝するなど多数の種目で入賞を果たしました。また、ラグビーでは最高齢チーム賞も受賞しました。令和8年度は埼玉県で開催される予定です。



但馬ドームで「ツウゲットボール全県大会」を開催

生きがい創造協会が、グラウンドゴルフをアレンジして開発した「ツウゲットボール」の全県大会を10月28日（火）に但馬ドームで開催しました。22回目となる今回は、県下各地から28チーム140人が参加。95歳の最高齢者も参加された中、終日、熱戦が繰り広げられました。

いなみ野学園からも2チームが出場。Aチームは見事に予選リーグを突破したものの惜しくも決勝トーナメントで敗退し、上位4チームはいずれも但馬地域のチームが独占しました。



【競技結果】

優勝 三江いろは
第二位 出石令和会
第三位 豊岡ワンパク
敢闘賞 朝来GG

『ファミリーファーム（指導者付貸農園）』新規利用者募集

手づくりの旬野菜を収穫し、採れたてを味わう喜びを経験してみませんか！

生きがい創造協会高齢者園芸センターでは、『ファミリーファーム（指導者付貸農園）』の新規利用者を先着順で募集しています。

利用区画は、堆肥入れ・耕耘を済ませてあるのすぐに耕作が開始できます。また、新区画（直営農場の一部を転用した良質な区画）も提供しています。

場所：高齢者園芸センター（加古川市野口町水足1984-62）

募集区画・年間利用料等：

区画	広さ	年間利用料	備考
新区画	30.0 m ²	18,000円（1月当たり1,500円）	1人1区画まで
大区画	32.0 m ²	18,000円（1月当たり1,500円）	1人1区画まで
小区画	16.5 m ²	7,200円（1月当たり600円）	1人3区画まで

・利用開始月により翌年3月までの利用料を前納していただきます。

以降、希望者は1年ごとに更新できます。

申込方法：申込書を持参・郵送・ファックスで高齢者園芸センターへご提出ください

申込・問合せ先：高齢者園芸センター ☎・FAX 079-426-5682 又は

生きがい創造協会 ☎ 079-426-5682

FAX 079-426-5682

【ファミリーファーム 利用者募集ホームページ】

https://www.hyogo-ikigai.or.jp/ikigai/gakusyu/pdf/HP_family_farm.pdf#zoom=100

蓬萊大介氏を講師に招き「公開講座」を開催しました

生きがい創造協会では、日本の歴史や政治、文化・芸術、健康・福祉、災害等に関する有識者からの講話を通じ、主体的に学び続ける県民としての見識を深める機会として、毎年「公開講座」を開催しています。

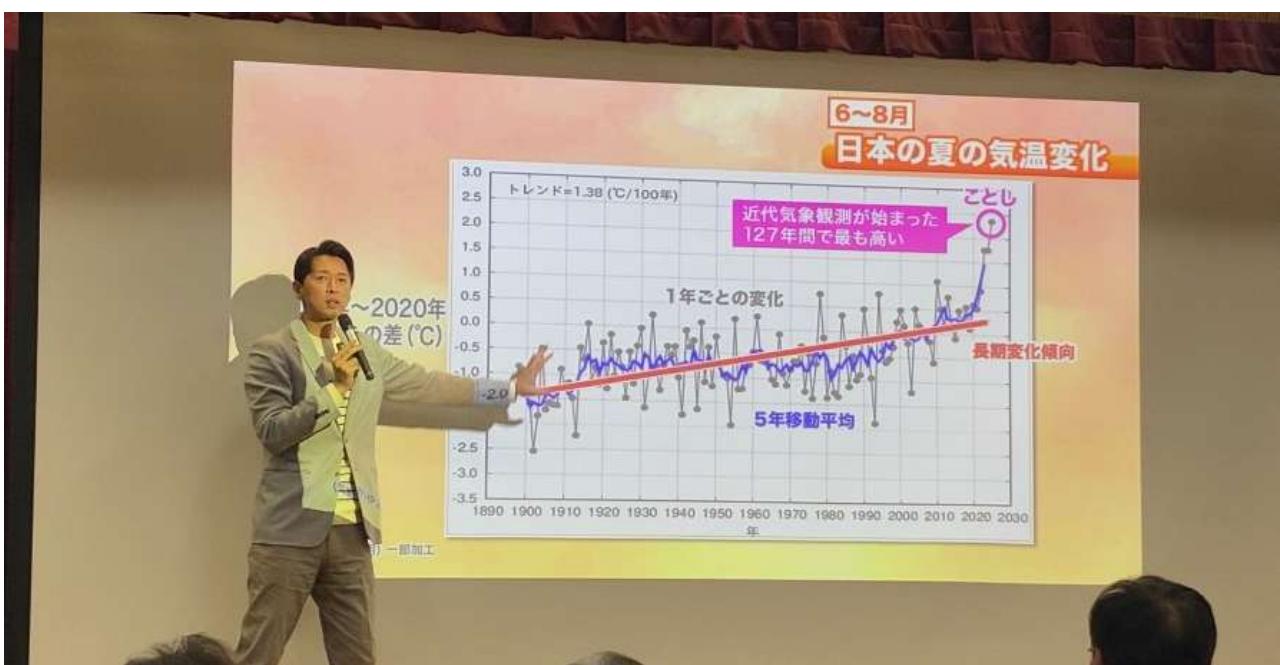
今年度は、12月7日（日）に気象予報士で防災士の蓬萊大介氏を講師にお招きして「自然災害が多い日本でどう暮らすか」をテーマに開催しました。



これまで多くのテレビに出演している蓬萊さんですが、まず、はじめに自身が気象予報士や防災士になった「きっかけ」の話から始まり、あくまで気象予報士という業務を軸にしながら「他の気象予報士がやらない全く違うジャンルにチャレンジし、様々な経験を積むことにより本来の気象予報士としての仕事に厚みや幅が広がってきた」という事を、熱中症患者を3名救助した経験談等も交えて紹介されました。

テーマの自然災害については、今年の猛暑や記録的豪雨などの近年の異常気象のデータを示され、特に近年の豪雨については①激甚化②頻発化③極端化がキーワードとなっており、「ひょうご防災ネット」など防災情報を積極的に入手するとともに、「これまで大丈夫だったから今回も大丈夫だろう」などと思わず、警報が出た時点で考え方を『災害モード』が切り替えることが大切だと訴えていました。

そのために、大事なことは自然災害から身を守るために「災害をイメージすること」で、特に地震などの大災害では国や地方公共団体の救助・救援がすぐには期待できず、「自助：共助：公助=7：2：1」であり、平素から自宅の防災力や近所の力を高めておくことが不可欠である、と力説されました。



ひょうごラジオカレッジだより

令和7年度「第2回中央スクーリング」を開催しました

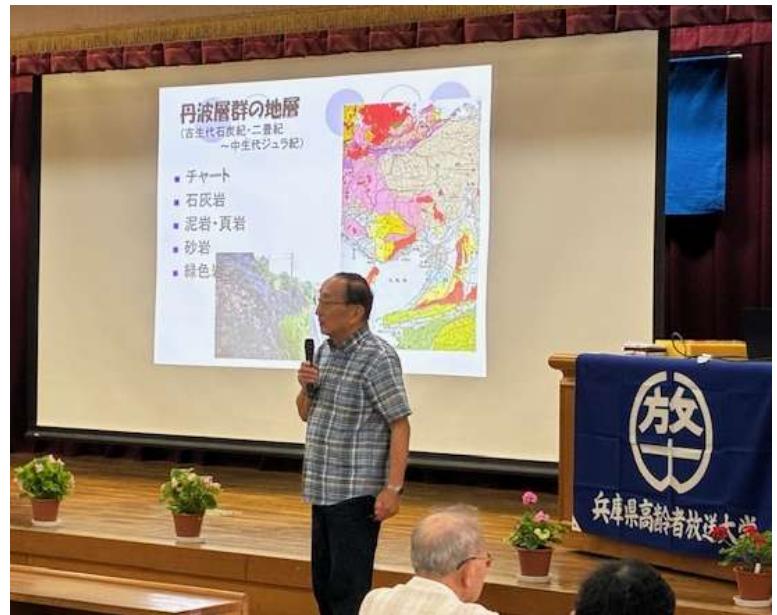
ひょうごラジオカレッジ令和7年度第2回中央スクーリングを9月4日(木)に開催しました。

当初は4日・5日の2日間での開催を予定していましたが、台風15号による大雨警報のため、残念ながら2日目は中止となりました。

学長あいさつなどの開会式後の講義では、かがく教育研究所所長の 脇本 格先生から「南海トラフ巨大地震 — いつ何が起こるのか、命を守る備え—」と題してお話をいただきました。脇本先生は、NHK「ブラタモリ」で六甲山系の成り立ちを解説された方で、地震発生のメカニズムを分かりやすく説明され、「人間は自然には勝てないが被害を最小限にはできる」「最大の防災策は普段からの豊かな人間関係だ」と力説されました。

続いて、令和7年度の永年在籍表彰者に対し、佐藤学長より賛辞（表彰状並びに副賞）が贈られました。該当者は5年賛辞43名、10年56名、15年35名、20年32名、25年12名、30年5名、合計183名（うち出席は70名）でした。

受賞者を代表して25年賛辞の内藤正克さん（小野市 名誉聴講生）が喜びの言葉を述べられました。受賞された皆さん、本当におめでとうございました。



ひょうごラジオカレッジの学び！

ひょうごラジオカレッジは、こころ豊かな人生を過すのに役立つ講座を、各分野の著名な講師によりお届けする放送講座です。

現在、30歳代から100歳を超える方まで、全国約1,400名の皆さんに意欲を持って学ばれています。

自宅での学習以外に、各地で開催するスクーリングや研修旅行などの参加行事もあります。さらに地区毎に有志による友の会があり、自主的に学生同士の交流も行われています。ぜひ、あなたも一緒に学んでみませんか！



「オープンキャンパス」「学長文学歴史サロン」を開催しました！

阪神シニアカレッジでは、教室や屋上農園などの施設を地域の方々に広く開放し、見学や相談を通じてカレッジへの理解を深め、入学動機を高めていただくため、今年も夏（8月）・冬（12月）の2回にわたり「オープンキャンパス」を開催しました。

オープンキャンパスではカレッジ紹介、施設見学、入学相談のほか、各教室では各学科・講座の実際の講義の模様を映像で体験していただく機会を設け、多くの方々の関心を集めました。

大教室では、田辺真人学長の企画による、兵庫にまつわる文学や歴史のお話を日本の伝統芸能とともに楽しんでいただく公開講座「学長文学歴史サロン」を開催しました。

8月31日に行われた第1回サロンは、落語家の桂阿か枝さんをお招きして、学長の講演「瀬戸内海航路と兵庫津」、古典落語「兵庫船」、対談で構成し、127名の参加者で大変にぎやかな公開講座となりました。また、12月14日の第2回サロンでは、宮廷の儀式や寺社の祭礼などで演奏される宮廷音楽「雅楽」を取り上げ、学長講演「阪神間の俚謡（りよう）採集から」、芳村直也さんをはじめとする雅楽奏者4名による雅楽の楽器や演奏法の紹介と演奏、対談と続くプログラムで、73名の参加者からは大いに好評を博しました。

来年度も多くの方々に阪神シニアカレッジを知っていただくため、充実した企画で「オープンキャンパス」「学長文学歴史サロン」の開催を計画していますので、どうぞご期待ください。



「阪神シニアカレッジ文化祭2025」を開催

阪神シニアカレッジで活動するクラブや学生が、作品展や舞台発表を通じて日ごろの活動成果を発表する「阪神シニアカレッジ文化祭2025」が10月15日（水）と16日（木）の2日間にわたり開催され、学生ほか約800人の参加者で賑わいました。

文化祭での発表をめざして作品制作や練習に取り組んできた14のクラブと個人展示の学生1名が参加し、学生主体の実行委員会による運営のもと、カレッジ各所で充実した賑わいのある催しを繰り広げました。

15日、16日に301教室で行われた作品展では、写真、書道、パソコン、川柳、俳句の各クラブ部員・卒業生による作品展示と学生1名の個人展示（能面）で力作を競いました。

16日に開催された401教室での舞台発表では、午前に太極拳、社交ダンス、朗読、オカリナ演奏とマジック、休憩をはさんで午後にコーラス、ダンス、朗読が各クラブから披露され、来場者から熱心な声援と温かい拍手が起こり盛況なステージとなりました。

両日とも、バルーンアートクラブによる飾り付けが全館を彩り、文化祭の盛況に一層華を添えました。



令和8年1月発行

公益財団法人 兵庫県生きがい創造協会
〒675-0188 加古川市平岡町新在家 902-3
TEL: 079-424-3380 FAX: 079-424-3475